

## 資料 3

# MHIにおける保険リスクマネジメントと 企業保険を巡る諸課題への提言

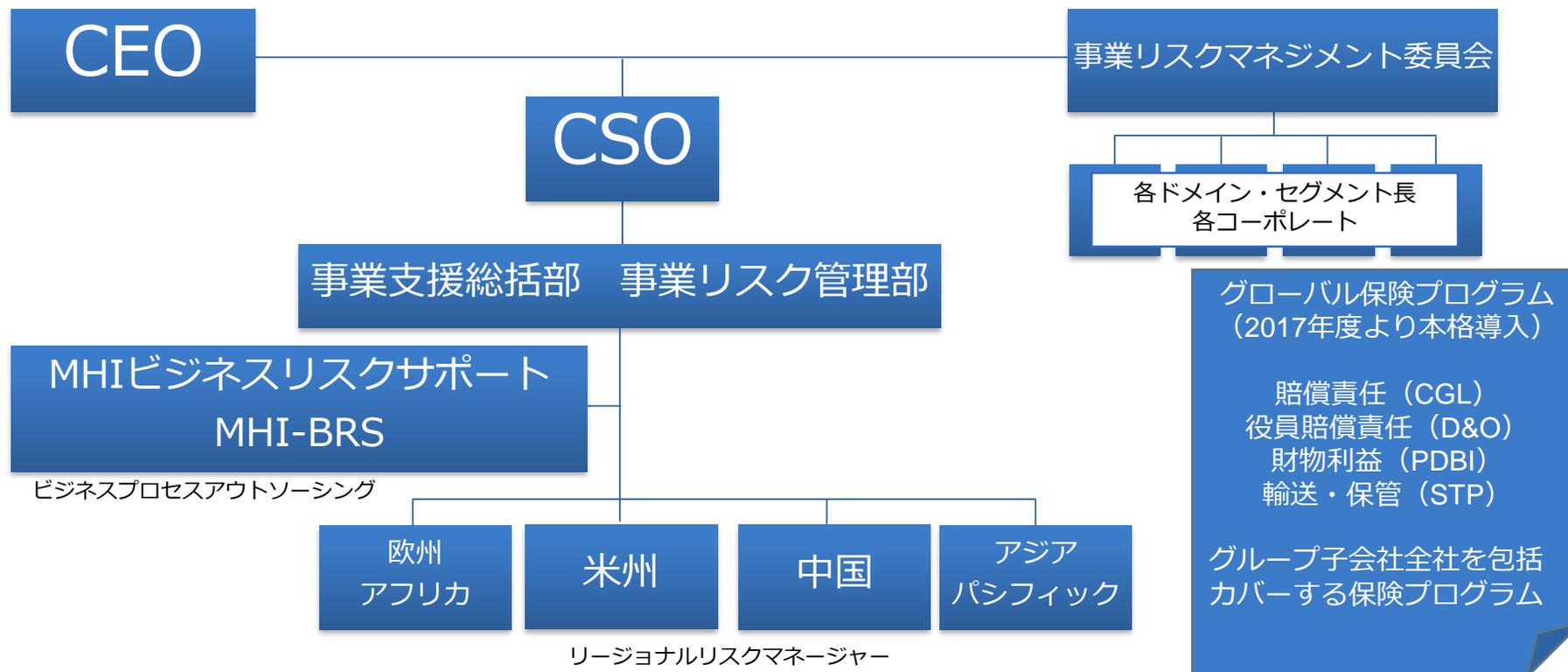
第3回 損害保険業の構造的課題と競争のあり方に関する有識者会議資料

2024/5/24

三菱重工業株式会社

事業支援総括部 事業リスク管理部

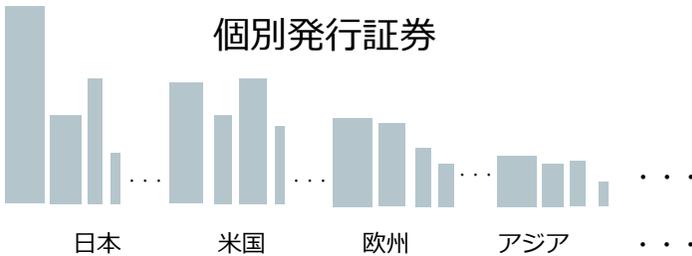
- 経営会議メンバーを中心とする事業リスクマネジメント委員会（四半期毎開催）
- 事業リスク管理部、MHI-BRS、リージョナルリスクマネージャーを中心とした現場支援



- グループ内のCenter of Excellenceとして保険リスクマネジメント業務を担う
- グローバル保険プログラムはその中心的な役割を果たす重要な保険プログラムであり、2016年に発表した事業リスクマネジメント強化の施策の一つとして導入が決定されたもの

## 導入前

### 個別発行証券



## 導入後

### 日本発マスター証券

### 各国ローカル証券

日本 米国 欧州 アジア ...

- 事業会社単位、プロジェクト単位で個別に保険付保をしていた
  - 限度額や保険条件も別々、全体統制が取れていなかった
  - 保険申し込みや保険求償も別々であり、全体像が見えていなかった
  - 保険の重複や抜け漏れの可能性もあり、付保実態調査が開始された
- 
- 調査の結果、賠償責任保険の保険証券だけでも、全世界で400証券あまりの保険証券が発行されていることが判明
  - 海外M&Aをきっかけとして、買収先にはグローバル保険プログラムの制度があったことも契機となり、導入が決定

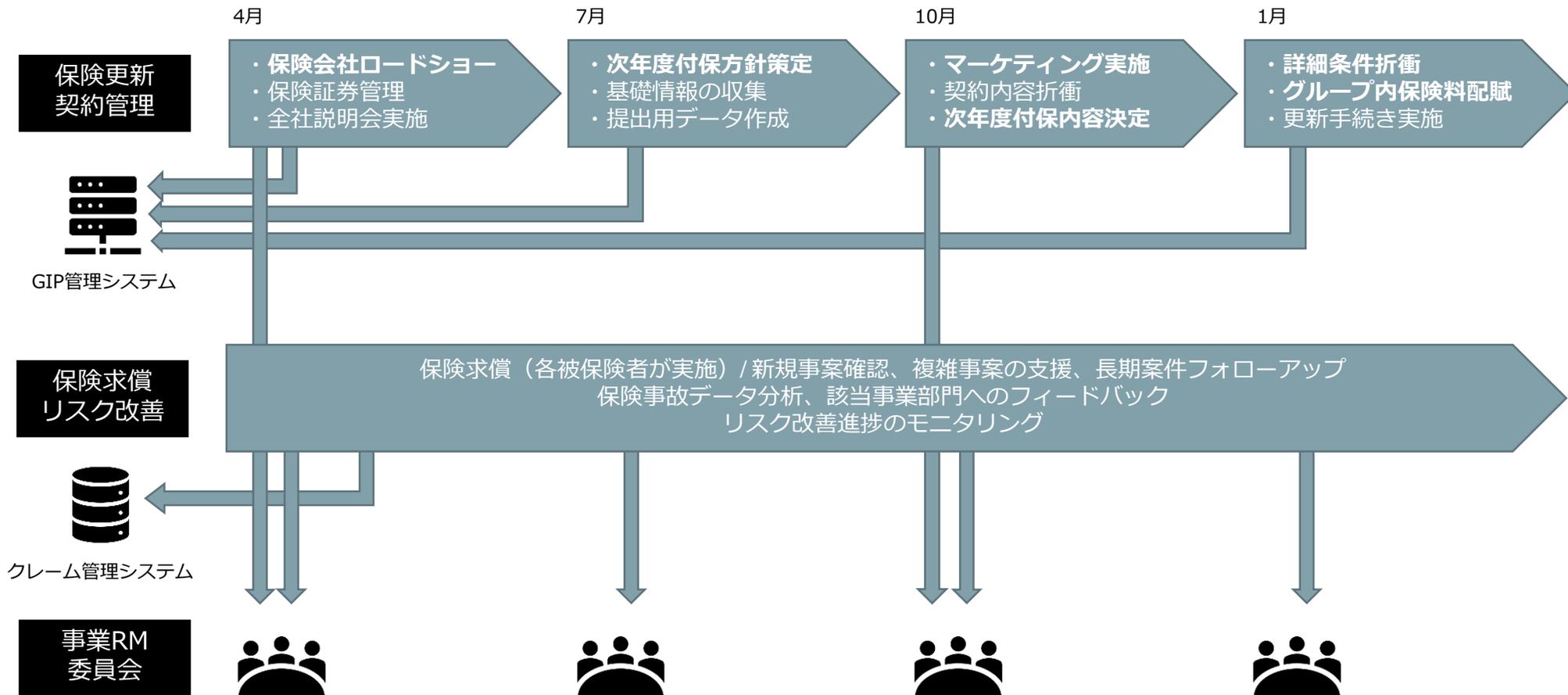
リスクの洗い出し

リスクの評価・分析

リスクの回避・低減

残余リスクの転嫁・保有

- 全世界MHIグループ子会社（約320社）を包括カバー
- 各社で個別購入されていた保険証券（賠償責任保険、役員賠償責任保険、財物利益保険、貨物保険）を統合して一元管理
- 各国の現地保険付保規制、また事故発生時の円滑な保険求償実施の為、進出先の各国でローカル証券を手配
- グループの**グローバル統一カバー**としてマスター証券を日本手配
- プログラムを一括手配することで、**スケールメリットを最大化、保険手配に関わるグループ内の事務コストを削減**
- **全世界の保険事故情報をモニタリング、事故防止活動へも活用**



- マーケットとの定期的な対話（情報提供・収集）を通じた長期安定的なプログラム運営
- 保険プログラムを「リスクセンサー」として活用し、経営層へも定期的にフィードバック
- グループ内での保険料配賦公平性、透明性がプログラム安定運用には欠かせない

## 原因



### 1. 企業が直面するリスクの高まり

- ① 物価上昇を背景とした物保険の修理費単価・賠償責任保険の賠償額の上昇
- ② 気候変動に伴う自然災害の激甚化、脆弱な沿岸域での経済発展
- ③ 大型の工場や倉庫といった1件あたりリスク金額（エクスポージャー）の高まり



### 2. 損害保険会社の収益環境悪化

- ① リスクの高まりを背景とした支払保険金の増加
- ② 元受保険会社の契約する特約再保険の上昇を背景として収益環境悪化
- ③ 特にキャパシティの大きい日本企業向けの引受に影響大、引受姿勢に変化

## 結果



### 3. リスク自家保有の拡大、自らのリスク改善の重要性が高まる見通し

- ① これまでのように保険会社が高額キャパシティで企業を支えることは困難
- ② 高額キャパシティを必要としてきた大企業を中心に今後自家保有拡大を余儀なくされる見通し
- ③ 「保険頼り」ではなく、自らのリスクを認識・低減する取り組みの重要性が一層高まる

## 提言1

グローバルに事業を展開する大企業にとっては、保険の活用を含む高度なリスクマネジメントの活用が求められている。このため、こうした企業自身の自律的なリスクマネジメントを支援する観点から、例えば、**能力のある責任者、一定規模以上の保険料支払を前提に「適格保険契約者（仮称）」として金融庁へ申請、公表を行い、認許を得た者はベネフィットとしての規制緩和**（国内手配の難しいリスクについての海外直接付保や、自家保有を余儀なくされるリスクについてのファンディング措置等）を検討してはどうか。

### <期待される効果>

キャパシティ調達の難しい保険カバーについての海外保険会社からの直接調達を容易にするとともに、自家保有を余儀なくされるリスクに対する財務的な措置（キャプティブや準備金引当等）を支援する。

## 提言2

企業保険プログラム運営に関する諸業務について、**仲介者（代理店・仲立人）を双方合意によるフィーベースで起用、互いの強みを生かした柔軟な起用を可能とすることで企業の保険リスクマネジメント高度化に対応**することを検討してはどうか。

### <期待される効果>

グローバル保険プログラムなど、国内外でのオペレーションを伴う保険プログラム運営実務支援を可能とするとともに、保険事故増加・マーケット上昇に伴う保険料＝手数料増となる利益相反構造、企業代理店の双方代理問題を解消する。